

# 5種類の文字を使い分け、 縦・横書きのできる日本語は 世界でも異例中の異例言語！

## 5種類の文字とは

- ① 漢字
- ② 平仮名
- ③ カタカナ
- ④ ローマ字
- ⑤ アラビア数字

元々、日本語は縦書き。日本の新聞は縦書きで、右から左へ読む。ビジネス文書は数字や英語を併記する必要があり横書きが多い。

漢字とひらがなとカタカナの3種類の文字がある。

漢字は5万字ぐらいありますが、学校で習うのは日常使う2000字位です。一般の新聞や雑誌にててくる漢字は3000字位。

## 横書き

日本人が普段、読んでいる新聞、雑誌に使われている文章は、漢字、平仮名、カタカナの日本語にプラスし、ローマ字、アラビア数字の5種類の文字がミックスして使われています。日本人にとっては何の違和感もなく、ごく当たり前に漢字、平仮名、カタカナ、ローマ字、アラビア数字を必要に応じて使い分け文書にしていますが、これは大変な作業を頭の中でしているのです。主として漢字、平仮名、カタカナの3種類の文字を使い分ける日本語の文字体系は世界でも際立って異例中の異例です！

同じ意味の文章でも人によって漢字や平仮名などの使い方がことなることで豊かな表現が出来ます。

日本人が普段、読んでいる新聞、雑誌に使われている文章は、漢字、平仮名、カタカナの日本語にプラスしローマ字、アラビア数字の5種類の文字がミックスして使われます。日本人にとって何の違和感もなく、ごく当たり前に漢字、平仮名、カタカナ、ローマ字、アラビア数字を必要に応じて使い分け文書にしていますが、これは大変な作業を頭の中でしているのです。主として漢字、平仮名、カタカナの3文字を使い分ける日本語の文字体系は世界でも際立って異例中の異例です。

同じ意味の文章でも人によって漢字や平仮名などの使い方がことなることで豊かな表現が出来ます。

## 縦書き

中国から漢字を輸入した日本人は漢字から平仮名を作り、次にカタカナも作った。

ローマ字も加え、改良に改良を繰り返し、なんと4つの文字を開発し、

微妙なニュアンスをそれぞれの文字を使い分け文章にして深みを与えています。

こんな民族が外にあるでしょうか？ 5種類の文字を操る日本人は世界に類のない民族なのです。

中国語は漢字のみで表現し、

英語はAから始まってZまでの26文字の組み合わせの言葉の組み合わせで文章にします。

アルファベットの一種類の文字だけです。

中国語、英語に比し、日本語は多様な文字を使うのが特色です。



漢字



ひらがな



カタカナ